

- 2026年11月にカタール・ドーハで開催予定の国際電気通信連合 (ITU) 全権委員会議で実施される電気通信標準化局長選挙において、現職の尾上 誠蔵(おのえ せいぞう)電気通信標準化局長(任期:2023年～2026年)を再び擁立し、二期目(2027年～2030年)の再選を目指します。

1. 概要

- ITUは、本年で創設160周年。日本は1959年以来、継続的に理事国に選出されるなど、ITUに対して、財政面・人材面の両面において最大規模の支援を行っている国の一つ。
- 2026年11月に開催されるITU全権委員会議で、ITU選挙職(事務総局長、事務総局次長、3局長)、無線通信規則委員会委員、理事国の選挙が実施される。



(尾上ITU電気通信標準化局長)

2. 候補者

- 尾上ITU電気通信標準化局長は、長年にわたる産業界での豊富な経験を有し、移動通信の標準化及び技術開発の両面で主導的な役割を果たしてきた人物。
- 2023年の電気通信標準化局長就任以降は、2024年にインド・ニューデリーで開催された世界電気通信標準化総会 (WTSA-24) を成功に導くとともに、ITUへの産業界の参加の促進にも積極的に取り組む。
- 2025年6月20日、ITU理事会において立候補を発表。

3. 今後の取組

- 総務省は、関係省庁と緊密に連携しつつ、ITU加盟国政府への積極的な働きかけを通じて、本選挙における当選を目指し取り組んでまいります。ご支援よろしくお願いたします。